

第1回 即興型ディベート基礎講座 Report

- 日 時 2014年6月14日(土)
- 場 所 本校4F会議室
- 指 導 者 中川智皓先生、社会人4名、九州大学生4名
- 参 加 者 生徒49名(男子19名/女子30名)
- モデルディベート We should prohibit an actor/actress who used drugs from going back to show business.
- 実 践 演 習 We should abolish homework.

1

事前オリエンテーション

全9回の計画的なディベート講座により、論理的思考はもちろん、これまで何気なく使っていた言葉についても深く考えるようになり、新たに視野が広がるのが期待できる。メイン講師の中川先生は即興ディベートで多くの実績をお持ちだから、しっかりと吸収するように、これからがんばっていきましょう。



2

自己紹介【30分】

～中川 智皓先生より～

講師の中川先生の自己紹介から始まりました。大まかな1日の流れと、スタッフの経歴等を交えての紹介があり、経験豊富なスタッフの方々に、生徒たちはこれから始まる講座にわくわくしているようでした。

また、中川先生がディベートを始めるきっかけや、実際ディベートをして感じたことを失敗談等も交えつつお話してくださり、その後の研究者としてディベートがどのように役立っているのかをお話してくださいました。適度な緊張感を保ちつつ、和やかな雰囲気ディベート講座が始まりました。



<p>3</p>	<p>即興型ディベートとは？【10分】</p> <p>準備型ディベートと即興型ディベートの違いについて説明があり、本講座の即興型ディベートについて説明がありました。</p> <p>【5つの柱、魅力について】</p> <p>①英語力 ②論理的思考力 ③幅広い知識 ④プレゼンテーション能力 ⑤コミュニケーション力</p> <p>【ルール】</p> <p>肯定側の Government と否定側の Opposition のディベートの流れと時間、Point Of Information の使い方などディベートの流れ方についての詳しい説明がありました。</p>	
<p>4</p>	<p>モデルディベート【30分】</p> <p>“We should prohibit an actor/actress who used drugs from going back to show business.”というテーマでスタッフの方によるモデルディベートがありました。</p> <p>英語のままほぼ理解できた生徒は1名、半分理解できた生徒は数名、そのほか大多数の生徒は難しかったようです。(中川先生より日本語での補助説明あり)</p>	
<p>5</p>	<p>実践【55分】</p> <p>6～7人のグループに分かれて、各グループに1人スタッフの方が加わり、“We should abolish homework.”というテーマで実践しました。各グループ内でそれぞれ役割を決め、ルールにのっとり、15分の準備後、ディベートを開始しました。</p>	
<p>6</p>	<p>感想・反省【10分】</p> <p>リフレクションシート記入後、感想を発表。思ったように自分の意見を英語で伝えることの難しさや、主張がまとまらず、相手に思うように反論ができなかった、語彙力が足りないと思った、などの感想が出ました。</p> <p>事後アンケート記入後、第1回目のディベート講座終了。</p>	